



刻印すべき70年

今年は敗戦後70年、各地で戦争の凄惨さ残忍さを忘れず2度と戦争をしてはならないと訴える集会が予定されていますが、どの地域においても体験者の高齢化でその継承が危機に瀕しています。学徒出陣された方は90歳を過ぎておられ語ることに忌避反応が出ています。

大阪国際平和センターの展示物の縮小という行政の動き(次号で詳細記します)や安倍政権の巧みな誘導によって、毎日のように法律が作られ、「戦争する国」への道のりが見えていますが、賢明なる国民は歴史を学び、体験談を聞き、本当に国際貢献できる肯定的平和主義を日本文化に根付かせねばならないと考えます。

現状でも、安倍政権に不都合な報道は事実上規制されているようで、私たちに気づかせないようにして法案が作られています。言論の自由度について「国境なき記者団」が発表した2015年度のランキングで日本は60位(韓国59位)となっています。おとなしい国民性が立憲国家にもかかわらず政治の暴走を許しているようです。その状況は戦前の様相によく似ていると思います。だからこそ、気力を振り絞って戦争の愚かさを学び伝えなければならないのです。

東京大空襲 B-29 焼夷弾の破壊力

私の恩師は50年前から次のように言われ警告をされていました。

「君たちは敗戦というと広島・長崎の原爆を思い起こすだろう。その凄惨残忍さはよく学んでいる。それと同時に忘れられてはならないのは東京大空襲のような各地になされたB-29からの焼夷弾による無差別爆弾攻撃の悲惨さと被災者の苦しみである。そして、戦争という極限状態になったときの人間の残虐さを学ばねばならない」

今月号では東京大空襲をとりあげ、悲惨さを学び、来月号は人間の残虐さについて取り上げます。

東京は100回を越える空襲を受けていますがその内訳をwikipediaの資料から作成しました。(資料1を参照ください。9枚目です)

(1)1945年01月初旬まで。

日本本土への初空襲は1942年4月18日、ドーリトル空襲と呼ばれている。航空母艦から発進されたB-25が16機が東京、川崎、名古屋、四日市、神戸への空爆に成功した。この時はまだB-29と焼夷弾は開発中であった。

B-29が行った最初の空爆は1944年6月の八幡製鉄所を目標としたもので、発進地は中国の成都基地からであった。この時のB-29の航続距離は北九州迄の程度で燃料の輸送が難しく出撃回数も制約があった。

日本本土を空襲するために米国政府は原爆よりも多額の金額をB-29の開発改善に費やした。

この時期からマリアナ・パラオ諸島を占領して東城英樹内閣を辞職に迫りやっした（7月18日）

B-29が最初に東京を爆撃したのは1944年11月24日で、その後東京は106回爆撃された。

Wikipediaの資料から東京空爆の一覧表を作成した。106回の内死者の数が記されているものを日別に列挙した。（資料1参照）

(2)カーチス・ルメイ少将指揮下になって

1945年01月27日のエンキンドル3号作戦までは軍需工場を目標として主に通常爆弾を使用した高高度爆撃（8000~10000m）からであったためジェット気流によって命中率が低かった。

この日の目標は中島飛行機製作所であったが、出撃した76機の内56機が有楽町、銀座地区へ目標変更して、民間人への無差別攻撃が始まった。死者539名。有楽町駅は遺体で溢れガード下は手足がちぎれた死体で目を覆うような惨状だった。

1月21日からは、カーチス・ルメイ少将が日本本土空襲の指揮を執り始めていた。

ルメイの作戦は低空飛行（2400~1600m）、焼夷弾の使用による無差別攻撃、爆撃の効果を上げるために夜間に人口密集地を狙うという非人道的なものであった。B-29は高高度攻撃用に設計されていたので搭乗兵からの反発もあった。焼夷弾は地上700mで分離爆発するので低空飛行は自爆の危険性があり実際に搭乗兵も何人か死亡している。（米国でこの時死亡した搭乗兵の母親が米国政府に訴えている）

(3)無差別攻撃の始まり

ミーティングハウス1号作戦、1945年2月25日、これまで最多の229機が出撃、使用弾は9割が焼夷弾となり、目標も市街地、天候が吹雪の予想があったので夜間ではなく、日中の高高度爆撃の8000mからとなった。神田駅を中心に本所、四谷、赤坂、日本橋、向島、牛込、足立、麹町、澁野川、浅草、下谷、杉並、と広範囲に被害が及んだ。

(4)東京大空襲・(下町大空襲)

ミーティングハウス2号作戦、1945年03月10日午前0時07分、下町大空襲は高度1600~2200mの超低空高度・夜間・焼夷弾攻撃というルメイ新作戦の第1号となった。

焼夷弾について。(写真はE-46クラスター弾・中に38発の子弾が入っている)

①通常爆弾との違いー通常爆弾は発生する爆風や飛散する破片で攻撃対象物を破壊するもの(破壊力)

②焼夷弾はー攻撃対象物を焼き払うことを目的とする(燃焼力)。

東京大空襲に用いられた油性焼夷弾の主燃料はナフサ(ゼリー状にしたガソリン)にナパーム剤という増粘剤をいれたものを直径8cm、全長50cmの筒に入れる(M69という子弾)重さ2.4kg。対象物にあたると筒からガソリンが飛び散り引火して火災が起きる。木造家屋が密集する所には大きな火災が起こせる。増粘剤が入っているので人間にあたっても離れないため黒焦げになる。人は逃げることが出来ない。火の竜巻が起きる。

この子弾を38発、内臓しているのがE-46クラスターでこれがB-29に積み込まれる。下町大空襲には6トンの積み込まれたという。2500発の子弾、66本のE-46が1機に積み込まれる。これが325機で来襲し279機が攻撃に成功したとある。



11平方メートルに1発、下町を取り囲むように落とされたため人々は逃げる道がなかった。隅田川に飛び込んでも火は消えなかった。

「若い世代に伝えたい最後の証言集」

今年の3月22日号「週間朝日」の特集記事がある。そこから要約して引用します。

①深川区（江東区）高橋4丁目の自宅庭に掘った防空壕に隠れたがそこも危険になり100m先の高橋国民学校に向かった、従姉妹は中に入ったが、静子さん（当時6歳）と母親が到着したときには門が閉じられたあとだった。「他に非難してください」そう言われて仕方なく、向かいに立つ、墨田工業学校の地下室に身を寄せた。中略ー薄れる意識のなか、ドンドンと激しく扉をたたき音と叫び声が耳に入ってきた。「扉を開けろ」「中に入れろ」叫んでいるのは女性だ。周りの大人たちは押し黙ったままでした。長い夜が明けた。空が白み、火の手もおさまた頃、大人たちが出ようと扉を押すが、動かない。黒焦げの死体の山が扉をふさいでいた。凄惨な光景が目飛び込んできた。胎児が飛び出した黒焦げの妊婦。鉄筋コンクリートの交番に何人もが逃げ込み、立ったままマッチ棒のようにくっついて焼けていた人たち。従姉妹が避難した高橋国民学校では400人の避難者のうち半数が蒸し焼きになった。従姉と再会することはなかった。

②空襲のあと救護室となった本所の緑国民学校の鉄の扉に大人と子どもの焼死体がびたりと張り付いていた。母親に向き合う子どもの頭は骨が見え、両手で目をふさいでいたという。「ここまで逃げてきた母子は、必死で扉を開けてくれとたたいたのでしょう。炎が迫るなか、恐怖で泣きだす子どもに母親は必死になって「見ちゃあいけない。目をふさいでじっとこらえるんだよ」と言い聞かせたのでしょう。」

③警防団の人たちが明治座の隣に立っていた倉庫の扉を開けようとしているところだった。寿美子さんが近づくと、扉の中は、木製の茶色いマネキンが裸でぎっしりと詰まっていた。「なんだ、マネキンか」戻ろうとした瞬間、警防団が一体引き出すと「マネキン」は口から血を吐いて倒れた。熱風で蒸し焼きになった人間だった。「髪の毛も服もすべてなくなっていた。」

④未明の大空襲。1週間後、動員令が下され、貞夫さんら候補生は行軍で東京を目指した。

「東京入りが遅れたのは、空襲直後の東京はまだ延焼中で、熱くて入れる状態ではなかったためです。ところどころ火が残る都内を人の焼ける異臭のなか、迂回しながら進み、焼けて天井が崩れた国技館に宿泊しました。貞夫さんら陸軍部隊の作業は遺体処理だった。火を避けて大勢が逃げ込んだのか、鉄道のガード下には遺体が折り重なっていた。別動隊は、隅田川に流れる遺体を縄で5、6人ずつ岸辺の木に

つないで収容した。貞夫さんは、母親と思われる人が炎から幼児を守るように折り重なった遺体を3組も目にしている。「離れるなよ」泣きながら声をかけ、ひもで2人をしっかりとくくりつけた。

⑤薬剤師だった母親は東京から大宮駅に逃げてきた人たちの救護にあたった。10日夜、大宮駅から自宅に戻った母親はこうつぶやいた。「焦げたねんねこの中で、もう死んでいる赤ちゃんをおぶって、一生懸命あやしているお母さんがいたの。その方に「死んでいますよ」とは言えないものね。

東京はこの後も空爆は続き、B-29の飛来数は更に多くなり、

1945年5月24-25日は山の手大空襲で麴町、麻布、本郷方面一中野、四谷、青山、国会議事堂周辺、東京駅周辺、皇居の一部までが被災している。

他の都市の大空襲

(1)名古屋大空襲 1945年3月12日

飛来したB-29は 288機 死者602名 焼失家屋29000

(2)大阪大空襲 1945年3月13日

飛来したB-29は279機 死者3115名 焼失家屋132459

(3)横浜大空襲 1945年5月29日

飛来したB-29, 517機 死者8000~10000人

東京大空襲に次ぐ被害を被った。使用焼夷弾数は438,569個と東京の32万個を上回っている

その戦禍の凄まじさの体験談が私の身近にある。私の母教会である日本基督教団神奈川教会の幼稚園創立85周年記念誌（1978年11月26日発行）の記録から故仁平 恵姉の寄稿文を引用します。

昭和20年5月29日、午前、横浜の空はB-29 517機の来襲を受け、その恐ろしい姿に、朝の明るさを失いました。怪物から投下される焼夷弾、続けて舞い落ちる爆弾。その悪夢の数時間で横浜全市が殆ど焼き尽くされ、宮前町にあった神奈川教会の礼拝堂と牧師館も灰燼に帰しました。

その朝、牧師館には、母、弟、従妹、私の4人が居りました。兄は学徒出陣命令で海軍に入隊し豊川の通信部隊に配属されました。父は戦時下徴用で日曜日以外は、大倉山高等女学院の生徒を連れて、川崎にある軍需工場へ出かけておりました。私たちは学徒動員でそれぞれ工場へ出勤するところでした。空襲警報が発令された為、ザックを肩に防空頭巾をかぶり避難の用意をしました。と間もなくザァーと雨が

降るような音と同時に焼夷弾の火の手があがり、横浜駅方面から青木橋、宮前町へと炎は町を舐めまわし、牧師館の角まで迫って来ました。それまで牧師館の前を歩いて幸ヶ谷の山へ逃げる人々に、水をかけてあげたり、素足の人には教会の草履をあげたりしていたのですが、もうこれまでと思い、母に布団をぬらしてかぶらせ先に逃げてもらいました。私たちも頭から何杯も何杯も水をかぶるのですが、火の粉がどんどん降ってくるので、すぐカラカラに乾いてしまうのです。そのうち、炎は牧



師館を焼き、会堂をつつみ、火の粉の竜巻で、真っ直ぐに天を指していた十字架の塔を囲んでしまいました。私は最後まで残って弟と二人で、逃げ登った幸ヶ谷公園からその燃え崩れるさまを見とどけ「ああ、教会の塔が……十字架が……」と叫んで絶句しました。妙にシーンとして、物音一つ聞こえず他のものは目に入らず、思考能力も状況判断も止まってしまった一瞬でした。我に返り、火の手に追われながら、現在の青木橋の下を通っている東海道線の線路に飛び降り、また、そこで、溝にあった泥水をかぶって命からがらたすかりました。今、その崖を飛び降りろと云われても、とても出来るものではありません。やがて火の手もおさまり焼け跡に戻ってきた私の視野に入った光景は、どこまでも邪魔するものが無いために見える海の青さと、焼けただれたガレキと地面の黒でした。その日は私の19歳のお誕生日でした。父の書斎は三日三晩燃え続けました。分厚い洋書や辞典、文学全集が燃え尽き灰になりながらも形をとどめ、その文字を私たちに「読んでごらん」と云うようにはっきり見せていました。しかし、指を触れただけで崩れてしまいます。そう、おひなさまも、哀しくくずれていきました。川崎にいた父も交通機関が皆無になった道を、焼死体や焼けトタンを乗り越えながら徒歩で夕方やっと戻ってきました。妻も子もやられてしまって駄目だろうと覚悟しながら歩いて来たそうですが、

みんな煤けた真っ黒い顔で、会堂の中央の所に、輪をつくりひざまづいた時、言葉もなく、ただ涙があふれて、とめどもありませんでした。その夜から防空壕の中で町内の人たちと共同の炊き出しをはじめました。水槽に飛び込んで焼け死んだ馬の肉が配給され、おいしいおいしいと食べたり、焼けトタンで囲った防火用水のドラム缶のお風呂でお月様を仰ぎました。そんな時、幸い家の焼けなかった岡田さんが真っ白いタオルを2枚持って来てくださり、とても有難かったことを覚えています。とにかく、どこを見ても焼け焦げだらけですからタオルの白が印象に残っていました。後略――

仁平 恵姉のお兄さんは滝沢陽一先生で、55年間、今も私を導き支えてくださっています。

戦争の被害の記録の曖昧さ

(1)太平洋戦争の記録

戦争の記録ほど曖昧なもの、政略的なものはない。1975年から79年まで続いたクメール・ルージュ政権（カンボジア共産党・ポル・ポト政権）で殺害された人は100万人から200万人、それ以上と推定される。ことほど左様に、調査する利害が剥きだしになるのが数字である。太平洋戦争死傷者数も調査団によって大きく異なる。記録も一様でなく可能な限り正確さを求めても一人の力では限りがある。今回、wikipediaを参考にして都道府県別被害状況表を作成しました。（資料2参照）

太平洋戦争死傷者数

調査団体	死傷者数
wikipedia.集計（筆者集計）	888,550
米国戦略爆撃調査団 1947年	252,769
経済安定本部 1949年	299,485
戦災都市連盟 1956年	509,734
建設省戦災復興史 1957年	336,738
東京新聞 1994年	558,863
日本経済新聞 2011年	760,000

その数字と他の調査と比較しました。

日本の公的な調査は米国への忖度が感じられます。

カーチス・ルメイ少将は1964年12月佐藤栄作内閣のときに、勲一等旭日大綬章を受けています。この人は戦後、北海道からシカゴまでノンストップ記録でB-29を操縦して帰国しています。その非人道的な作戦について質問されると「日本のパール・ハーバー攻撃を思えばー」激しい復讐心はその行動の原点に読み取れます

(2)東京大空襲の凄惨さの再認識

東京の死者行方不明数は長崎を上回る。負傷者数、損失家屋では群を抜く大きさです。損失家屋数は広島に7倍です。

場所	死者行方不明者	負傷者数	損失家屋
広島県	276,819	46,672	101,628
長崎県	75,428	2,219	50,079
東京都	122,993	109,567	770,090
大阪府	15,784	28,347	364,422
愛知県	13,590	15,567	168,119
神奈川県	12,000	16,202	146,493

焼夷弾の恐ろしさは使用禁止が2007年5月のダブリン国際会議で採択されているほどです。人口密集地や木造家屋には甚大な被害を与える非人道的な爆弾とされています。核爆弾を用いると人類が全滅するかも知れないと知りつつも、核抑止力と言いながら核兵器を作っていくのは愚かなことです。この愚かさと恐怖から原爆を用いない戦争をするようになって、テロ戦争までに発展していきました。

更にプーチン大統領がクリミア半島問題で核兵器を用意したとの物騒な報道に世界が驚いています。

武器所有欲は止まるところを知りません。過剰在庫になればそれを消費しないと経済が好転しませんから無理矢理に消費する口実（大義と称する）を作って戦いを始めます。目先の経済優先、自分のことのみ優先する政治家は日本だけではないようです。

「持つと使いたくなる」欲望の渦巻く世界に生きている者に個人の力は無力です。にもかかわらず、やはり私は訴えたい「平和憲法は守る」べきであり、そのために小さな輪で沢山の輪を作り横のネットワークで賢明になることに懸命になることを。東京大空襲の凄惨さは戦争の日常的な姿です。70年の節目が日本人の覚睡の時であることを願います。

資料1 東京空襲明細（106回のうち死者の判明するもののみ集計）

	空襲被災地	B29の数	死者	負傷者	被害家屋	推定死者
1944						
11—24	武蔵野中島飛行機製作所	111	224			
11—27	武蔵野中島飛行機製作所		41			
11—29	神田、本所、城東等		32		2,952	
11—30	日本橋区への初めての空襲					
12—03	杉並、板橋、江戸川		184			
12—06	江戸川		3			
12—10	麹町、江戸川等		1			
12—11	大森、品川		1			
12—12	豊島、小石川等		6			
12—21	江戸川		4			
12—27	広範囲		51			
12—31	神田、本郷、下谷、浅草		5			
1945						
01—01	下谷、浅草、本所、向島		5			
01—05	城東		3			
01—09	広範囲		28			
01—27	エンキンドル3号作戦		539			
01—28	蒲田、本郷、浅草、荒川		15			
02—02	城東、下谷		4			
02—14	向島		47			
02—16	大森、渋谷、中野、杉並		3			
02—17	赤坂、大森その他		211			
02—24	浅草、下谷、神田		102			
02—25	ミーティングハウス1号作戦	229	198		20,681	
03—04	豊島、下谷等広範囲		650		4,085	
03—05	江戸川、蒲田等		2			
03—07	八丈島		1			
03—10下町大空襲	ミーティングハウス2号作戦	325	83,793	40,918	268,358	110,000
03—14	新島		7			
03—18	浅草		2			
03—20	深川		6			
03—31	四谷、牛込		19			
04—01	豊島、		17			
04—02	武蔵野、板橋、杉並		220			
04—04	広範囲		710			
04—07	杉並、四谷、大森、武蔵野		44			
04—12	杉並、板橋、荒川、武蔵野		94			
04—13	城北大空襲	330	2,459		171,370	
04—15	城南京浜大空襲	202	841		50,874	
04—19	府中、三鷹、小平		8			
04—24	立川、北多摩、西多摩等		246			
05—12	足立		3			
05—19	浅草、荒川、向島		10			
05—24	麹町、麻布、牛込、本郷等	525	762		64,487	
05—25	山の手大空襲	470	3,651		166,000	
05—29	大森、蒲田、芝、品川		41			横浜大空襲
06—10	板橋、立川、国分寺等		293			
07—01	不明		5			
07—05	八丈島？		3			
07—06	八王寺等		4			
07—08	板橋、立川等		4			
07—10	下谷、板橋、立川等		6			
07—12	蒲田		16			
07—13	新島		2			
07—16	米国被実験成功					
07—19	江戸川		1			
07—20	東京駅東側		1			
07—28	板橋、渋谷、城東、三鷹		4			
07—29	北多摩郡		3			
07—30	西多摩郡		1			
08—01—02	八王寺空襲	169	473		14,147	
08—03	杉並、滝野川等		2			
08—05	八王寺空襲2		52			
08—08	足立、板橋、武蔵野、新島		72			
08—10	板橋、王寺、滝野川等		195			
08—13	京橋、蒲田、大森、品川		29			
	計		96,459		762,954	
	推定数		26,534		7,136	
	合計		122,993	109,567	770,090	

資料 2

都道府県別被害状況

	死者行方不明	負傷者	損失家屋		死者行方不明	負傷者	損失家屋
北海道	1,230			滋賀	52	79	
青森	1,772	800	17,863	奈良	31	122	
秋田	102			三重	9,631	3,749	32,837
岩手	626	664	4,850	和歌山	1,835	5,255	30,276
宮城	1,200	1,936	11,603	大阪	15,784	28,347	364,422
山形	42	37		京都	215	270	
福島	727	412	2,730	兵庫	12,427	21,619	212,968
茨城	3,359	3,190	14,952	岡山	1,900	1,114	23,800
栃木	612	1,181	10,835	広島	276,819	46,672	101,628
群馬	1,237	1,538	15,052	鳥取	70	312	
千葉	1,492	1,909	14,181	島根	38	16	
埼玉	400	955	3,797	山口	3,654	3,878	23,106
東京	122,993	109,567	770,090	香川	1,555	1,034	
神奈川	9,197	16,202	146,493	徳島	2,160	1,210	
静岡	6,549	9,808	96,774	愛媛	546	2,219	21,552
新潟	1,467	472	15,123	高知	690	1,055	12,237
山梨	1,181	885	17,364	福岡	5,776	5,011	62,048
長野	52	46	106	佐賀	138	192	
富山	2,300	3,801	22,490	長崎	75,428	2,219	50,079
石川	27	25		熊本	869		11,657
福井	1,823	1,907	26,966	大分	726	521	2,486
岐阜	1,214	1,071	33,963	宮崎	646	559	
愛知	13,590	15,565	168,119	鹿児島	4,649	2,219	
小計	173,192	171,971	1,393,351		415,639	127,672	949,096
合計					588,831	299,643	2,342,447

この表はwikipedia日本本土空襲から引用して加工、再計算をしたものです。

空欄はゼロではなく、不明と考えます。各地の人々の実感とは大いにかけ離れる数字ではないかと思います。